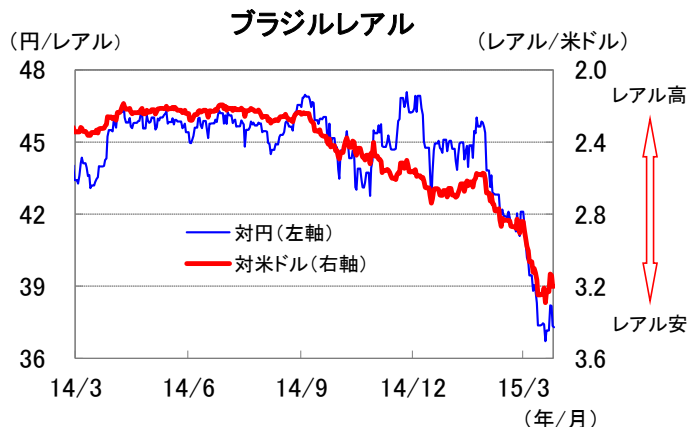


## 今日のトピック

# ブラジル中銀がレアル買い介入の追加を停止

### ポイント1 通貨安抑制プログラム打ち切り 市場予想通りながら、レアルは下落

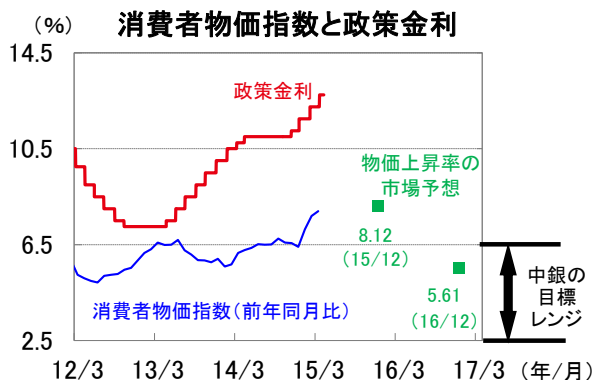
- ブラジル中央銀行(以下、中銀)は24日、現行の通貨安抑制プログラム(ブラジルレアル買いの為替介入)について、市場の大方の予想通り、3月末で新規の実施を打ち切る方針を示しました。
- 25日のレアル相場は、24日の報道を受け、対米ドルで前日比2.0%、対円で同2.2%のレアル安になりました。



(注)データは2014年3月1日～2015年3月25日。  
(出所)Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 レアル安定への配慮は継続 既存取引の延長を続ける方針

- 今回の決定には、通貨安をある程度容認し、低迷する景気に配慮する姿勢がうかがえます。一方、中銀は既存の為替予約を延長する方針や、必要に応じて追加的な為替介入を実施する姿勢を維持する方針も示しました。中銀は、レアルの安定に向けた配慮も当面続ける姿勢です。
- また、中銀は通貨安による物価高を警戒しており、次回会合(4月28日～29日)でも政策金利(現行12.75%)をさらに引き上げると見込まれています。



(注)政策金利は2012年3月1日～2015年3月25日。  
消費者物価指数は2012年3月～2015年3月(2015年3月は月前半)。  
物価上昇率の市場予想は、中銀が3月23日に発表した調査結果。  
(出所)Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## 今後の展開 金融引き締め策、汚職対策、財政再建策を受け、レアルは持ち直しへ

- 景気低迷、物価高、石油公社を巡る汚職問題などからルセフ政権への支持率が大幅に低下しており、レアル安の一因になっています。ただし、政府は汚職対策法案を国会に提出するなど、国民の不満解消に取り組んでいます。
- 財政再建への取り組みもあり、23日に大手格付け会社S&Pはブラジル国債の格付けをBBB- (外貨建て)に据え置くことを発表しました。これを受けて、投資適格を失うとの不安は後退しました。
- 中銀の金融引き締め策や政府の取り組みなどにより、物価高の改善や政治・社会不安の解消が進む場合には、レアルは持ち直しに向かう可能性が高まります。

### ここも チェック!

2015年03月25日 最近の指標から見るブラジル経済(2015年3月)  
2015年03月05日 ブラジル中央銀行が4会合連続の利上げ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。